

富士市中小企業景況調査結果

令和2年度第1四半期【令和2年4月～6月】

富士商工会議所調べ

◇ 調査実施要領 ◇

富士市内中小企業の景気動向と経営状況について調査を実施した。
製造・建設・卸売・小売・サービス業の5産業、200事業所(回収率69.5%)を対象に、「令和2年4月～6月」の3ヶ月間の生産・売上および経営状況の調査を行い、その結果を産業別にまとめた。

DI(景気動向指数)とは

『上昇・増加・好転』したとする企業割合から、
『下降・減少・悪化』したとする企業割合を差し引いた値。

前期…令和2年1月～3月 今期…令和2年4月～6月 来期…令和2年7月～9月

表中の矢印=5ポイント以上の推移を上下矢印で表し、5ポイント未満は横ばい矢印で表示した

◇ 今期調査の概況 ◇

主要DI	前回調査		今期調査 (前年同期)		来期予測
業況	▲51.5	↓	▲66.2 (▲24.0)	↗	▲48.2
売上	▲43.7	↓	▲60.2 (▲7.4)	↗	▲31.1
採算	▲40.0	↓	▲61.4 (▲22.8)	↗	▲38.8

今期調査では、全産業合計の業況・売上・採算DIともに新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、全て下降となった。来期予測については、緊急事態宣言解除後から徐々に影響拡大前の生活に戻りつつあることから、営業再開した卸・小売業、サービス業などは今後の期待感もあり、全産業合計の業況・売上・採算DIは、全て上昇の見込みとなった。

主要DIを産業別にみると、今期は建設業を除いた4業種で主要DIの全てが大幅に下降となり、来期は建設業以外の業種で上昇の見込みとなった。建設業は今期までは、公共工事や以前からの発注工事があり業況・採算DIは横ばいであったが、工事の一時中止や延期が出始め、来期は全て下降という結果となった。製紙関連では衛生紙以外は下降気味で、生活様式の変化の影響が出ている。飲食料品や土産品は、観光関連産業向けの需要が急減し、自動車関連の生産調整による受注減などあらゆる業種に影響が拡大し悪化している。小売業では、緊急事態解除以降回復傾向にあり、定額給付金等の支給による需要拡大に期待する声が聞こえた。今後の見通しは、影響長期化への懸念から厳しい見方が多かった。

経営上の問題点では、製造業、卸売業、小売業、サービス業がともに「売上減に伴う利益減」が1位となり、建設業は慢性的な「人材不足」が1位となった。

◇ 全産業の動き ◇

〔業況のDI〕 製造業、卸売業、小売業、サービス業は下降。建設業は、横ばい。

来期予測は、製造業、卸売業、小売業、サービス業は上昇。建設業は、下降を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲47.2	↘	▲67.6 (▲23.1)	↗	▲33.3
建設業	▲40.0	→	▲41.4 (0.0)	↘	▲71.4
卸売業	▲54.6	↘	▲82.6 (▲50.0)	↗	▲60.9
小売業	▲68.4	↘	▲77.8 (▲55.0)	↗	▲26.9
サービス業	▲55.6	↘	▲65.4 (▲7.7)	↗	▲51.9
全産業	▲51.5	↘	▲66.2 (▲24.0)	↗	▲48.2

〔売上高のDI〕 製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の全て下降。

来期予測は、製造業、卸売業、小売業、サービス業が上昇を予測。建設業は、下降を予測。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲38.9	↘	▲64.7 (▲7.7)	↗	▲21.3
建設業	▲43.3	↘	▲48.3 (10.0)	↘	▲55.2
卸売業	▲60.9	↘	▲66.6 (▲27.3)	↗	▲41.6
小売業	▲36.8	↘	▲64.0 (▲20.0)	↗	▲7.7
サービス業	▲40.8	↘	▲57.7 (0.0)	↗	▲30.8
全産業	▲43.7	↘	▲60.2 (▲7.4)	↗	▲31.1

〔採算のDI〕 製造業、卸売業、小売業、サービス業は下降。建設業は、横ばい。

来期予測は、製造業、卸売業、小売業、サービス業が上昇を予測。建設業は、下降を予測。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲38.9	↘	▲58.8 (▲33.4)	↗	▲30.3
建設業	▲36.6	→	▲41.4 (0.0)	↘	▲48.3
卸売業	▲39.1	↘	▲79.2 (▲31.9)	↗	▲58.3
小売業	▲47.4	↘	▲66.7 (▲35.0)	↗	▲15.4
サービス業	▲40.8	↘	▲65.4 (▲16.0)	↗	▲44.5
全産業	▲40.0	↘	▲61.4 (▲22.8)	↗	▲38.8

◇ 産業別の動き ◇

※コメントは回答に基づき要約しています。

【製 造 業】 景気ムード…【厳しい状況】

『製紙』…「飲食・外食に関係する商材につき、4月頃より需要激減。インバウンドの消滅と相まって、先行きが非常に不安である。」「第1四半期においてはコロナ感染症による影響が大きく、先行きが掴めない。」「包装用紙は手提げ袋を中心に大幅減となっている。衛生紙以外はマイナスで、段ボール以外は10～20%ダウン。海外市況も中国の回復が遅く低調。徐々に回復すると思われるが、全体的に景気が不透明なため回復ペースが見えにくい。」との意見。

『紙加工』…「外出自粛要請等に伴う巣ごもり傾向から、宅配等に使われる段ボール紙は好調だが、チラシ広告等は減少している。新型コロナが終息しても、生活様式が元に戻るには時間が掛ると思われ先行き不透明である。」「企業活動停滞やテレワーク等の浸透にて紙の需要は激減する。新型コロナが収束してもコロナ禍前の状態には戻らないと推察する。」とのコメント。

『機械器具』…「海外からの部品が新型コロナの影響で調達できず、未完成のまま止まっており、業界全体が停滞している。今後、数年は低迷すると予測する。」「3月位から価格競争が激しくなっている。リーマンショック同様に厳しい価格での取引になっていく様相。」との回答。

『金属加工』…「今期は新型コロナの影響で自動車部品メーカーが週3日の休業を実施し、大幅な生産調整を行ったため、売上は大きく落ち込んだ。工作機械部品についても輸出不振が続き、低調傾向にある。在庫調整が一段落すれば徐々に動き出すと思われるが、期待は出来ない。」「自動車産業の不振により、関連産業機械メーカーが打撃を受けている。新型コロナの影響がどこまで続くのか不透明。」とのコメント。

『自動車部品』…「新型コロナが、自動車メーカー各社にダメージを与え、特にN社系メーカーは極めて厳しい状況である。この危機が長期化すれば自動車需要は減り、業績が従来よりも悪化する。」「某トラックメーカーは主要市場のインドネシアにて大幅に販売が落ち込み、加えて新型コロナの感染拡大により、国内需要が大幅減となっている。新型コロナの景気低迷がいつまで続くのか世界中の経済への影響も甚大で、リーマンショックを上回る景気後退局面に対し、経験を活かした対応策を講じたい。」「新型コロナ感染拡大の影響が徐々に始り、メーカーの新製品生産が数ヶ月停止する予定である。」との情報。

『繊維加工』…「原材料が入手困難。現状では先の見通しがつかない。」とのコメント。

『印刷資材等』…「オフセット印刷業界はギリ貧化。家庭紙・段ボール業界は微増。産業機器販売は大手企業が設備投資を控える模様。株価だけは3月中旬の底値より戻ってきているが、新型コロナのワクチン・治療薬の開発への期待や米中摩擦、香港問題、新興国の感染者増加など、世界的経済再開後、新型コロナ2次拡大となるか今後の見通しは予断を許さない状況である。」との回答。

『食料品』…「新型コロナの影響は学校休校に伴う影響は若干あるものの、余り感じられない。」「コンビニの業績が悪化。スーパー、ドラッグストア、ディスカウントストアは好調。低価格商品の需要が高まっている。他にはEコマースが好調と聞いている。今後もこのような状況が継続すると思われる。」「新型コロナで休業した店が多く土産用商品の売上が激減。」「内食向け食品は売上が好調であるが、外食関係は低調。」とのコメント。

『その他』…「小売店・飲食店の倒産、廃業が目立ってきた。」「政府のコロナ対策資金があるため、多少一息つけるが、将来の需給増は難しいと思われる。」「富士市は衛生紙生産が多く比較的堅調な需要だが、自動車関連が悪化しているので先行きが読めない。」との意見。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	0.0	32.4	67.6	▲67.6	上 昇
売上高	5.9	23.5	70.6	▲64.7	上 昇
採 算	5.9	29.4	64.7	▲58.8	上 昇

〔建設業〕 景気ムード…【厳しい状況】

『総合建設』…「官庁発注はあるが、内容が新型コロナ発生以前と変わらない。しかし、感染拡大防止策として作業時のマスクの着用や手洗い消毒などの備品経費が加わり、継続的な人員・人材不足など粗利に影響を及ぼす。コロナ終息の時期とその後の経済状況が予測できず、深刻な影響が水面下で進行する不安がある。」「公共工事は増加が見込まれるが、新型コロナの影響により民間企業の投資が慎重となり、官民トータルの売上高は減少傾向に進む。政府の経済対策の効果を期待したいが、今後の経済動向の行方を危惧する。」「過当競争による利益減。今後も難渋すると思われる。」「新型コロナ感染症対策としての様々な支援策等で国家債務増大のため、今後、公共事業がどうなるのか不安である。」「新型コロナの影響により設備投資を見合わせ、工事延期となった案件が出ている。自動車関連会社及び個人住宅等中心に受注が減少。中国の生産が開始された事により輸入建材等の調達は解消してきている。今後1～2年は新型コロナの影響は継続されると思われる。」とのコメント。

『一般住宅』…「新型コロナの影響は現在受けていないが、集客は低下しているため不安である。」「今後リモートワークが進んでいく模様。アジア地域では経済活動が徐々に再開し、一時的に国内対応していた商材も入り始めた。」「リモートワーク（営業）では商談や社内会議での意思疎通が取りにくく意思決定が遅れ、顧客満足度の低下等が課題である。」との意見。

『建設関連』…「世界中に猛威を振るう新型コロナだが、景気悪化に拍車が掛り建築業界も減退すると思われる。」「新型コロナの影響で発注が減少。今後、先行きを見通せず、厳しい状況は長期化すると推測する。」「今期は感染拡大の影響は余り受けていないが、来期は減産を余儀なくされるため、対策を検討している。今後、民間設備投資の大幅な削減又は工事の延期が予想され、景気対策の一環として政府には公共工事の発注を切にお願いしたい。」「新型コロナの影響により、取引先の設備投資計画の先送り等着工が7月以降にズレ込む様相。そのため、現場の集中で下準備作業等が難しくなる。」との声。

『設備工事』…「同業者の減少と新型コロナの影響により行政からの予算は減少すると思われる。しかし、慢性的な職人不足が一番心配である。」「配管工事業は増々過当競争になると思われ、取引先の設備投資予定が7割減との情報もあり、今後の見通しは減退と予想。」「アフターコロナで日本がどの様に変化するか全く予測不能。完全収束はないと思われるため、経済の低迷を懸念する。」「設備投資減少による売上高減が予想される。建設業界は慢性的に人員・人材不足の状態。」とのコメント。

『土木関連』…「新型コロナの影響により建設工事や業務における一時中止等で延期が発生。早期に終息し、再開を望む。」との回答。

『造園工事』…「業界の動向として、公共施設などの工事や委託等もコロナ禍により減少し、影響は今後現れると推測する。」「公共・民間ともに造園工事は少ない。民間では剪定よりも樹木の伐採工事の需要が増加している。昨今、緑花維持管理を組合員以外の業者が多く入札に参入してきている。」「新型コロナの影響により企業の販売不振による需要減少が見られる。公共事業に関しては既に予算確保のため現時点での影響は余り感じられない。これから暑さが増す中、マスク着用が推奨されているが、作業中の熱中症発生リスクを低減させる必要がある。」とのコメント。

『屋外広告・イベント』…「予定されていたイベント案件がキャンセルの中、取引先の厚意で看板工事や飛沫防止パネルの新規受注が発生している。新型コロナ終息後、今までと異なる新生活様式に合わせたビジネスを模索中。」との声。

『その他』…「飲食業界では、家賃・人件費等の支払いが出来ず廃業する店舗も出て来ている。」「地区内行事（夏祭り・体育祭等）開催をどうするか話題に上るが、ワクチン・治療薬の開発には時間が掛りそうなので、たとえ3密を避けたとしても脅威を感じる。」「近年、お茶価格の低迷が続いているが、今年も昨年以上に悪く一番茶の摘採をせず、茶樹を撤去する農家が急増している。転換作物として何があるのか苦慮しているようだ。」との情報。「富士市の交通アクセス状況及び利便性をPRし、企業誘致を推進する必要がある。」との意見。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業況	0.0	58.6	41.4	▲41.4	下降
売上高	0.0	51.7	48.3	▲48.3	下降
採算	3.4	51.7	44.8	▲41.4	下降

〔卸売業〕 景気ムード…【厳しい状況】

『機械器具』…「今期は新型コロナ感染拡大により、受注が遅延傾向にある。来期以降も流動的である。」「業績の良い顧客と悪い顧客で二極化が進み格差は大きく、大口案件の引き合いが殆どない状況である。」「国内はもとより海外輸出まで厳しくなっており、今後の不安が増すばかりである。」「製紙業界はコロナ禍において、一時的にトイレットペーパー不足により家庭紙需要が増えたが、全体としては依然厳しい状況が続いている。今後、海外往来や県外をまたぐ移動が増えるにつれ、コロナ第2波への危険性も危惧する。ウィズコロナ(コロナと共存)の時代、どのように経済活動を正常に近づけるか未だ不透明である。」との回答。

『金属部品』…「新型コロナ感染拡大の前から景気は後退しつつあり、コロナ禍の後も需要は減少すると思われる。」との声。

『自動車部品』…「昨年末、貿易摩擦の影響で新車の販売が落ち込み、景気が悪化しているところへ新型コロナの影響が更に業界の悪化を促進した。一昨年より売上利益とも15%の落ち込みとなった。」とのコメント。

『建築材料』…「新型コロナの影響により経済活動が大きく停滞し、業績の悪化した企業が設備投資を大幅に縮小見直しに入り、同業者間で激しい過当競争が生じる可能性がある。自ら首を絞めるような価格競争は避けたいものだ。」との声。

『紙』…「コロナ危機により、観光地需要の急減や来客数減少に伴い売上低下。」「需要低迷による減収が大きく、ティッシュペーパーを除く衛生用紙は需要が伸びたが、他の紙は前年割れである。」「家庭紙・衛生材などは堅調だがコロナ要因もあり、その他全般の

紙及び紙製品の製造販売は減少している。イベント関連の中止に伴い印刷用紙などは引続き減少すると思われるが、緊急事態宣言解除で観光地やレジャー施設の再開があれば紙袋などの受注回復も見込まれる。」との意見。

『製紙原料』…「紙業界は低迷状態が継続。製品価格維持のため原材料費を抑えているが、一部値下げ販売が見られる。ライフスタイルの変化が浸透し、企業経営自体の変革が益々加速する中、情報伝達手段の価値観を捉え、自社がどう進むべきか今後の判断がポイントとなる。」「新型コロナ禍で新聞やチラシなどの紙需要の落ち込みが激しい。中国の古紙輸入削減及び原料価格の下落に注視する」「新型コロナの影響で業務用トイレットペーパー生産が低下のため、古紙等の原料需要が減少し厳しい状況。今後、当業界は産業古紙の減少と輸出入、生産調整等の不安定により予断を許さない状況である。」とのコメント。

『再生資源』…「鉄・非鉄スクラップなどの廃材は、需要減でも取引価格が上昇している。要因として、新型コロナの影響で工場稼働休止や建物解体工事も止まり、鉄スクラップの発生が減少した事によるもの。非鉄金属は自動車関連や住宅建設需要が減少のため価格は下落し、底値横ばいとなっている。コロナ終息後に期待したいが先がみえない。」との声。「新型コロナウイルスの影響で鉄鋼製品の減少。経済活動の縮小により、非鉄及び鉄スクラップが需要減で国内価格が低下していたが、供給要因により相場は堅調感を取り戻しつつある。中国の経済活動上昇に伴い鉄スクラップ買入の依頼増加により価格も上昇傾向。されど、自動車メーカー不振の影響は大きい。」「今後需要が見込まれるセグメント（一部顧客）を選択注視していくことが重要と考え、社会情勢に向き合い事業形態の変化を図り短期的に実行に移したい。」との意見。

『工業薬品』…「世の中全体の自粛ムードが無くならない限り厳しい状況が継続するであろう。」「この時期、家庭紙関係が堅調なのが救いだが、いつまで保てるか不安である。」「コロナ関連商材は引き合いも多いが、全体的には落ち着いてきた。早く通常に戻れば自動車関連も良くなると思われる。」との声。

『食品』…「新型コロナの影響により業界全体の需要が減少。家庭用は外出自粛で一時的に活況であったが現状は鈍化。緊急事態宣言解除後、外食・宿泊・イベント需要は回復が遅れると思われ、コロナ以前に戻ることはないを読む。」との予測。

『その他』…「新型コロナの影響で吉原祇園祭などのイベントが中止となり、来年行える確証がなく不安を募らせている。」「農産物の販売方法（卸売市場法6月21日改正）が大幅に変わり、直接販売が可能になることで卸売業者と仲卸売業者が維持してきた価格等が崩れ、市場関係者の立場が厳しくなると危惧する。」「感染拡大に最大限の注意を払い経済活動に支障がないよう対策を講じて欲しい。」「新型コロナで旅行関連会社が深刻な状況で観光バスが動き出すまでまだ時間が掛りそうだ。」「商店街・繁華街など営業再開が始まっているが客足はまだ少なく需要回復には時間を要する。」との声。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業況	0.0	17.4	82.6	▲82.6	上昇
売上高	16.7	0.0	83.3	▲66.6	上昇
採算	0.0	20.8	79.2	▲79.2	上昇

【小売業】 景気ムード…【厳しい状況】

『各種食料品』…「菓子業界は総じて非常に厳しい状況下にある。観光・ギフト関連は最悪、大手流通系も悪化しているがコンビニやスーパーは善戦している様だ。しかし、緊急

事態解除後はわずかに回復傾向にある。」「コロナ禍自粛生活で菓子需要は堅調。地域密着型の個人店はよく、観光流通菓子業界は低調。」「夏向け新商品を開発し、ネット販売を拡大していく予定である。」「飲食業全体は、厳しさが継続すると思われる。休業や時短経営が無ければ売上も戻るが、コロナ後に向けた新しい生活のための態勢を整えることが大切である。」「一般消費者の家庭用需要は2～3割程度伸長したが、飲食店などの業務用需要が大幅に低下した。緩やかに売上が戻って行く様子だが、価格競争は激化していくと考えられる。」「感染予防対策を図りながら営業しているが、職域で感染者が発生した時点で休業せざるを得ない状態である。一方、朝・夜の来客の動きは良くなってきているので予想される第2波に備えた経営を進めている。今後は全体的に買い控えも生じると消費の落ち込みが推察される。」とのコメント。

『飲料品』…「ここ数年需要減に伴う販売減と生産減の傾向が続いてきたが、今年は新茶の生産時期に新型コロナによる社会不安が重なり、最悪のタイミングであった。外出自粛による贈答品需要はかなり減退したと思われる。健康志向と家庭内消費という点で、緑茶が見直されるのではと僅かな望みを抱いている。」との回答。

『衣料品・呉服』…「コロナ禍の中、来客が全くない日の連続で開店休業状態。」「夏のイベントが中止になり、浴衣・祭り用品需要が全てストップし大変厳しく、メーカーから小売店まで見通しが立たない状況である。」との意見。

『生花』…「異業種の参入による競争過多のため、専門店の低迷化やコロナ禍による花木生産者の離農や野菜への転植(改植)による出荷量の不足による、品種及び価格の不安定化が進む様子である。」「新しい生活様式に伴い需要の予測が立たず、年内はイベントが更に減少する可能性があり、花の需要が減少すると予想。」「イベント自粛による需要の低迷。新型コロナ終息の見通しがつかず、今後も景気後退の現実感はない。」との回答。

『日用品・雑貨』…「個店の不振が続く中、ホームセンター・家電大型店は売上増加でホットプレート、パン焼き機、ホットサンドメーカー等家電調理器類が完売。」とのメーカー情報。「新型コロナの影響により室内遊び玩具の需要は大幅に増加したが、全体的には悪化している部門もあるため、前年割れとなっている。定額給付金の恩恵が多少あると思われるが、長期的に見ると暗黒時代がくる心配がする。」「消費者の消費動向の変化で物を欲しがらない又は、物に拘らなくなっている。購入においても個店より大型店、ネット通販となり、メーカーもそちらに力を入れている。個店はより鮮明に個性をだしていかなければならないと思う。」「需要低下による売上減の傾向。新型コロナによる自粛が定着し、お客様の動向が戻るまで時間を要し、暫くは自制すると予測する。」との声。

『医療器具』…「インターネット通販への販売チャネル変更に伴う価格競争により利益率が低下し、減益となると予測される。」との回答。

『化粧品』…「昨年までのインバウンドや中国の旺盛な需要がないため、国内の生産・販売ともに低迷。3月～5月は新型コロナによる大規模商業施設の営業自粛の影響により、販売高は前年度同比30%～90%マイナスとなっているが、地方都市の路面店では影響が少ない。今後の営業再開により、業界全体は年末に向け回復傾向となると思われるが、2波3波が発生するとその後の予測ができない。将来的にはAI等の発達により、仮想ビジュアルプレゼンテーション(ショウインドウ・ディスプレイ)等に変化していくと思われる。」との声。

『燃料』…「コロナ禍による原油需要の低迷で大幅な価格低下をもたらしたが、5月中旬以降一転し、原油価格が高騰している。現在、需要の減少は継続しているため、値上がり分を転換できず価格競争が始まりつつある。原油は上昇傾向が続くと思われるが、需要は戻らず価格競争による利益減と消費減となって行く様相。」「外出自粛により自動車での移動距離が減少し、燃料販売数量はガソリンスタンド業界全体として2割～3割減少となった。緊急事態宣言が解除され、経済活動が動き始め燃料需要は少しずつ高まってきている。カーエアコンを利用することで燃料を消費しやすくなることから夏場に向けて、徐々に回復すると予想される。」との意見。

『家電製品』…「家事の負担やストレスを軽減するために定額給付金を利用し、家電の活用を提案している。ロボット掃除機・食器洗い乾燥機・トイレ掃除の自動化。洗濯機・エアコン等スマホで遠隔操作ができる。このような便利家電は日々進化し、暮らしにゆとりを与える。斬新な新製品が発売され、購買力に繋がればと願う。」との回答。

『自転車』…「都市部では3密を避ける手段として自転車に注目が集まっており、業界としては悪くない動きである。特別定額給付金やプレミアム商品券などで需要が期待されるので販売努力していきたい。」との声。

『自動車』…「新型コロナウイルスの影響により、生産・販売に大きく遅れが生じている。現在、先が見通せず車に対し消費マインドも動かない状況である。」「外出自粛、イベント・行事の中止によりバス需要が激減。この事態が長期化すると企業業績に大きく影響を及ぼす。」とのコメント。

『その他』…「鈴川地区のバス運行会社が3月に廃業。沼津線沿いのパチンコ店も閉店し、今後ドラッグストアとコンビニの複合施設の建設が予定されているらしく、小売店激戦区となっている。」「吉原商店街振興組合『新型コロナウイルス災害支援』として全組合員に一律2万円助成した。吉原祇園祭が中止となり、飲食業等地域経済への影響も大きい。7月より商店街としても『一の市・ポイントカード3倍セール・他抽選会』など復活モードに突入予定。」「新型コロナの影響が商店街の衰退に追い打ちを掛け、人通りが激減している。若手経営者が頑張っているので出来るだけ協力したい。」「6月1日現在、新富士駅の乗降客の回復の遅さに絶望感を感じている。今後、出張が減り、駅構内での商売は非常に困難なものになる様相。」「駅南地区で3店舗の飲食店が閉店した。今後も予見できずに廃業が増加すると思われる。」との情報。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業況	0.0	22.2	77.8	▲77.8	上昇
売上高	4.0	28.0	68.0	▲64.0	上昇
採算	3.7	25.9	70.4	▲66.7	上昇

〔サービス業〕 景気ムード…【厳しい状況】

『飲食』…「新型コロナウイルスの影響により、外食業界は大きな打撃を受けている。今後これまでと同じような経営方法での営業は成り立たないという状況に来ている。この6月の売上が今後の運営に大きく左右されるのではないかと危惧する。」との回答。

『クリーニング』…「GW開けの自粛解除後も売上減少が継続しており、客先のコロナ対策が続いている間は低迷状況と予想。」「個人クリーニング店の廃業が目立ち、取次店やコインランドリーは増加模様。」とのコメント。

『運輸・倉庫』…「取引関係では4月～5月に入り、貨物及び輸入品が多少薄くなった。新型コロナが少しでも収束しないと不安で先が見通せない。」とのこと。

『自動車整備』…「新型コロナの影響により車の販売が低迷している中、外出自粛による交通事故の発生件数も減少したため、自動車板金塗装の需要も減少した。このままコロナ収束まで長期化すると非常に難しい状況が続くと思われる。」との回答。

『不動産』…「緊急事態宣言発令で店舗休業及び時短営業に伴い、売上は急下降。現状では、前年並みに戻るのは難しく、創意工夫で乗り越えなければならない。しかし、全国的に見れば影響は少ないが、夜は自粛ぎみで客足は伸びない。」「景気の悪化に伴い不動産

購入や不動産賃借の需要が低迷。業種により景況感にバラツキがあるため激減ではないが、中長期的に影響が残ると考える。現状では見通しは明るくないが経済活動の回復を期待したい。」「テナントが新型コロナの影響で苦戦しているので家賃の収入減が見込まれる。当分の間は、厳しい市況が続くと思われるので資産の確保と安定したキャッシュフローを維持したい。」「新型コロナ感染症による景気の落込みにより、契約等のキャンセル・買い控えが急増している。素地（荒地）も先行きの不安からこれまで以上に相談件数・売却依頼が増えており、混乱状態。賃貸物件への影響はこれまでになく深刻である。」「相続による空き家相談や分譲地の急激な増加、中古物件のダブつきなど中心市街地の地価は守られているが、郊外の地価は下落していく模様。新型コロナの影響で収入の将来性が見えず、不動産買い控えが増える」と予想。」とのコメント。

『**広告デザイン**』…「コロナ対策で全体的に停滞している。第2波の不安もあり、積極的な動きが取りづらい。」と回答。

『**専門サービス**』…「顧問先の新型コロナ感染拡大に伴う売掛代金の不払い、支払い遅延及び廃業が発生している。この先、事業継続の資金繰り面や事業主の高齢化問題が増える」と予測する。」「今まで資金難の事業所の倒産や後継者不足の事業所の廃業が相次いでいたが、インバウンドや飲食・宿泊業を中心にコロナショックによる潜在的な廃業候補が増加、業態の在り方や業務の資質向上が課題となって来た。いつ新型コロナが終息するか先行きが見えない状況下、様々な業種に於いて変化が求められ、対応しなければならない時期が来ている。」「多くの事業所がコロナ関連の融資を受けているが、返済時期まで持ちこたえられるか危惧する。」とのコメント。

『**塾・個人教授**』…「継続的な少子化が続いているが、2020年度より新学習指導要領が開始され、学習支援業への需要も引続き考えられる。コロナウイルスの感染拡大により対面によるサービス業に関して身体的、物理的サービスの提供は困難な状況が続くと思われる。知的、情報サービスを提供する業種に関してはリモートへの切替えが出来る企業は業績を維持できると思われる。」との意見。

『**各種学校**』…「コロナショックで一時的に売上が若干上がったと思うが、単純に夏の集客が前倒しで発生し、今後マイナスに転じると推察する。」との見解。

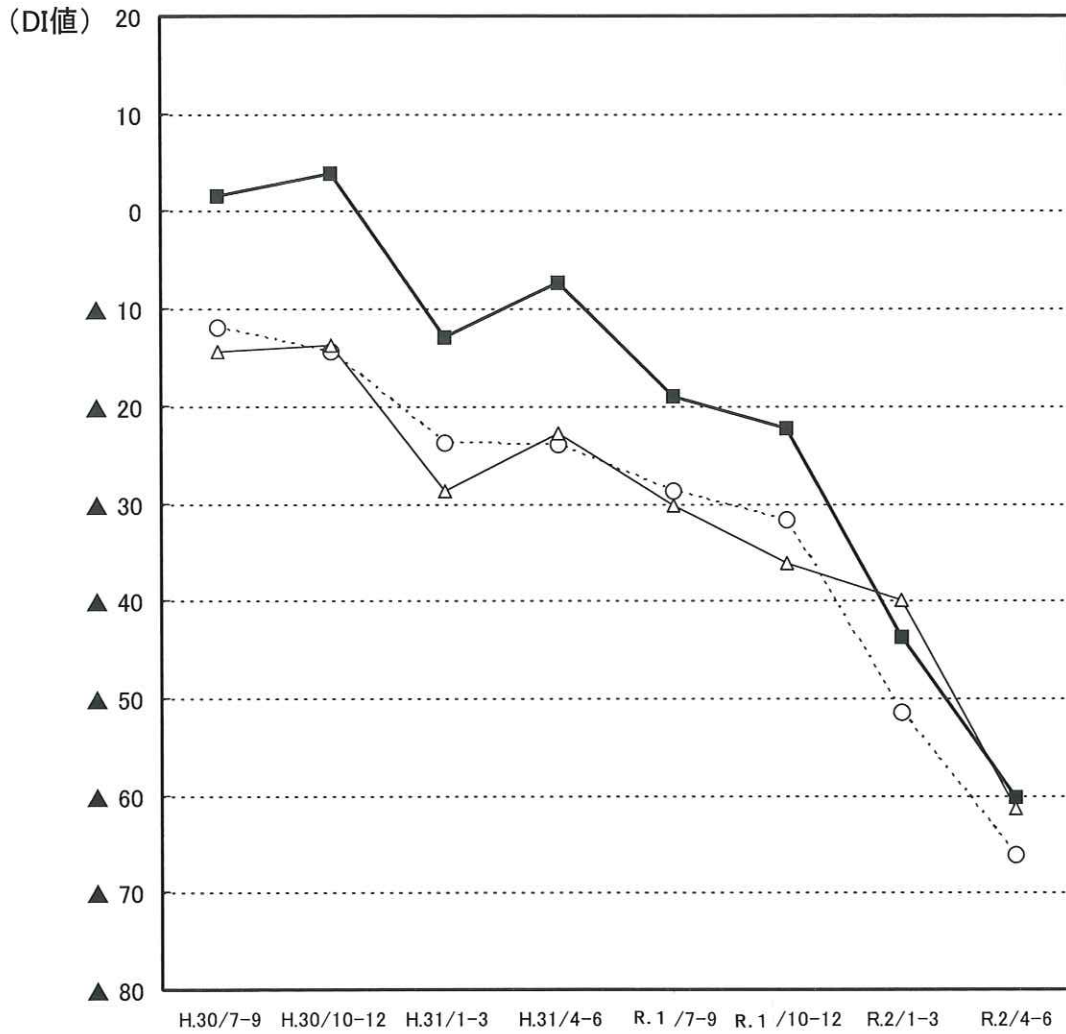
『**旅館・ホテル**』…「新型コロナによる痛手は言うまでもなく、例年6月の需要の落ち込みはより一層厳しい状況である。ホテル林立的なか宿泊料金の値下げ競争も激しく、来期に向けて多少期待するが、コロナ次第で不透明である。」「旅館業はシングル部屋での販売より、スポーツ観光での大部屋販売でないとなら利益を出すのが困難のため、ソーシャルディスタンスで団体を受け入れるとなると厳しいものがあり、今後の課題である。」との回答。

『**その他**』…「様々なイベントが中止となり、元気の出る話題が欲しい。各飲食店によるテイクアウトの弁当販売イベントがいくつか開催され、楽しみが一つ増えた。実相寺から岩本山公園の遊歩道を歩く親子連れが増えている。」「飲食店の様々な取組が実になるよう願う。パチンコ店の閉店があり、社会の変化を身に染みて感じる。新規事業形態への取組を期待する。」「市内の公立小中学校に関しては、オンライン化が大いに遅れており、対面教育すべき人間形成、集団生活以外の学習という面では課題があると思う。」との声。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業況	0.0	34.6	65.4	▲65.4	上昇
売上高	7.7	26.9	65.4	▲57.7	上昇
採算	0.0	34.6	65.4	▲65.4	上昇

全産業主要調査項目の 前年同期比DI推移状況

■ 売上 ○ 業況 ▲ 採算



(調査期間)

レーダーチャート

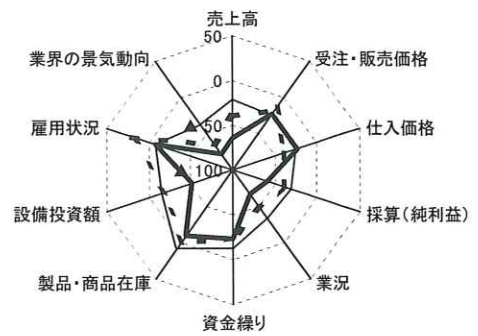
売上高	増加・減少
受注・販売	上昇・下降
仕入価格	下降・上昇
採算	好転・悪化
業況	好転・悪化
資金繰り	好転・悪化
製品・商品在庫	減少・増加
設備投資額	増加・減少
雇用状況	不足・過剰
業界の景気動向	好転・悪化

前年同期比

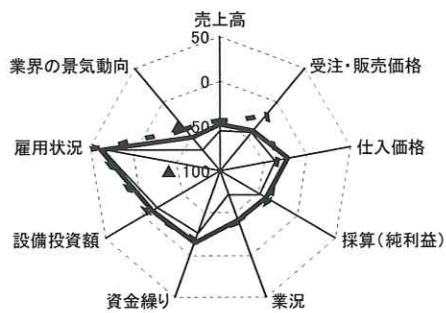
来期予測

前回調査時

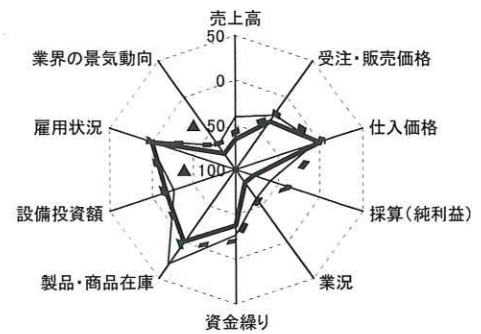
【製造業】



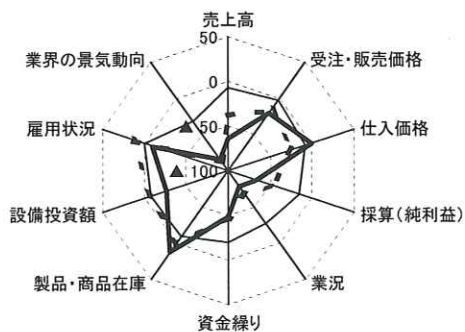
【建設業】



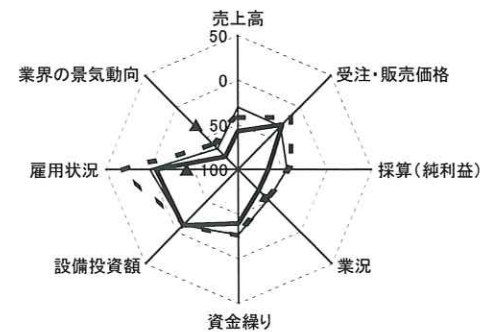
【卸売業】



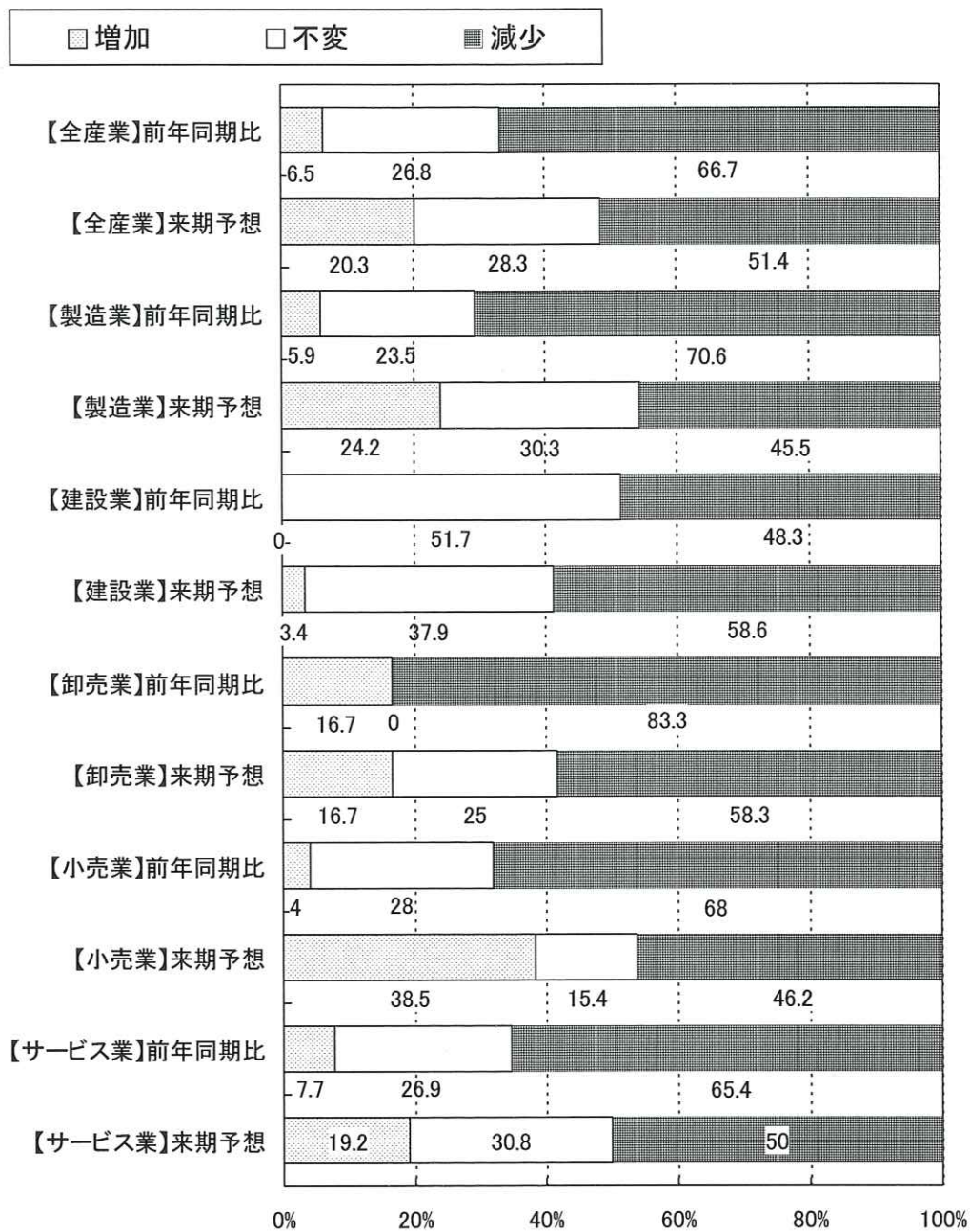
【小売業】



【サービス業】



売上高の前年同期比と来期予測



◇ 経営上の問題点 ◇

産業別	上位回答項目
製造業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 その他の需要の低迷</p> <p>3 位 人材不足／設備老朽化</p> <p>その他 売上、利益減による資金圧迫</p>
建設業	<p>1 位 人材不足</p> <p>2 位 過当競争</p> <p>3 位 人員不足</p> <p>その他 売上減に伴う利益減／売上、利益減による資金圧迫</p>
卸売業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 その他の需要の低迷</p> <p>3 位 売上、利益減による資金圧迫</p> <p>その他 販売価格の低下／設備老朽化</p>
小売業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 売上、利益減による資金圧迫</p> <p>3 位 その他の需要の低迷</p> <p>その他 設備老朽化</p>
サービス業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 その他の需要の低迷／売上、利益減による資金圧迫</p> <p>3 位 設備老朽化</p> <p>その他 人材不足</p>

最近の静岡県金融経済の動向

公表日（2020年6月23日）

日本銀行静岡支店
照会先 TEL 054-273-4106

（概況）

県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から一段と悪化している。最終需要の動向をみると、公共投資は着実に増加している。一方、個人消費は減少している。設備投資は、絞り込みや先送りの動きが広がっているほか、投資マインドも悪化している。住宅投資は一段と減少している。輸出は大幅に減少している。

こうした下で、企業の生産は大幅に減少している。

雇用・取得環境をみると、労働需給、雇用者取得ともに悪化している。消費者物価（除く生鮮食品）は前年を下回っている。

1. 需要項目別の動向

（1）個人消費・・・減少している。この間、外食など各種サービス消費では大幅に減少している。

百貨店・スーパー売上高は、スーパーは増加している一方、百貨店は大幅に減少しており、全体では弱めの動きが続いている。乗用車新車登録台数・販売台数は、大幅に減少している。コンビニエンスストア売上高は、弱めの動きとなっている。家電販売額は弱めの動きとなっている。ドラッグストア売上高は、大幅に増加している。旅館・ホテルの宿泊客数は、大幅に減少している。

（2）公共投資・・・着実に増加している。（公共工事請負金額前年比：20/4月▲15.9%
⇒5月+59.9%）

（3）設備投資・・・絞り込みや先送りの動きが広がっているほか、投資マインドも悪化している。（設備投資額前年度比<短観>：19年度計画+4.4%⇒20年度計画+4.1%）

（4）住宅投資・・・一段と減少している。（新設住宅着工戸数前年比：20/3月▲1.1%
⇒4月▲4.4%）

（5）輸出・・・大幅に減少している。（清水港、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4港合計値）
（輸出額前年比：20/4月▲13.3%⇒5月▲32.6% <速報値>）
輸送用機械を中心に大幅に減少している。

2. 生産、雇用・所得、物価の動向

(1) 生産・・・大幅に減少している。(鉱工業生産指数・生産<季節調整済>前月比：20/2月▲2.2%⇒3月▲3.2%<速報値>)

自動車・同部品は、大幅に減少している。二輪車・同部品は、大幅に減少している。食料品は、横ばい圏内の動きとなっているほか、電気機械は、減少している。化学は、減少している。はん用・生産用・業務用機械は、大幅に減少している。紙・パルプは、減少している。楽器も、大幅に減少している。

(2) 雇用・所得・・・労働需給：悪化している。雇用者所得：悪化している。(有効求人倍率：20/3月1.22倍⇒4月1.17倍)

一人当り名目賃金・常用労働者数ともに悪化している。

(3) 物価・・・消費者物価指数(除く生鮮食品)は前年を下回っている。(指数・前年比：20/4月▲0.4%⇒5月▲0.3%)

3. 企業倒産、金融面の動向

(1) 企業倒産・・・件数、負債総額ともに総じて落ち着いている。

企業倒産(20/5月、負債総額10百万円以上)をみると、件数(11件<前年比：▲35.2%>)、負債総額(16億円<同：▲9.6%>)

(2) 預金・・・前年を上回っている。(前年比：20/3月末+1.6%⇒4月末+2.4%)

(3) 貸出・・・増加に転じている。(前年比：20/3月末▲0.8%⇒4月末+1.7%)

(4) 貸出約定平均金利(地元地銀・第二地銀4行ベース、総合・ストックベース)は前月比低下した。(20/3月1.740%⇒4月1.723%)

以 上